

育児休業代替任期付教員とは？

育児休業の教員の代わりとして教育現場で働く教員のことです。
任期が決められていることや、育児休業が取得できないこと以外は正規教員と同様の勤務条件です。

任期付教員になる **メリット!**

3年間は1次選考が免除! ※2

給料は正規と同水準!

実際の教育現場でキャリアが積める!

育児休業代替任期付教員の
正規教員合格率

80%

※1

任期付教員の採用選考は **正規教員の選考と併せて実施**します。

※1 2019年実施神戸市教員採用選考で神戸市育児休業代替任期付教員に合格した者の内、3年間で正規教員に合格した割合です。
※2 免除となる条件があります。詳細は実施要項をご確認ください。

採用スケジュール

出願期間	4月20日(水) - 5月20日(金)
↓	
適性検査	6月17日(金) - 6月27日(月)
↓	
第1次選考 筆記試験	6月25日(土)
集団面接試験	7月 9日(土) - 17日(日)
↓	
第1次選考結果発表	8月上旬
↓	
第2次選考 筆記試験	8月21日(日)
実技試験	8月16日(火) - 8月31日(水)
個人面接試験	8月16日(火) - 9月 2日(金)
↓	
最終結果発表	10月上旬
↓	
新規採用事前セミナー	令和5年1月頃
↓	
採用	令和5年4月1日予定

神戸市の教員・学校園

校種	教員数	校園数
小学校	4,988	163 分校1舎
中学校	2,650	84 分校3舎
義務教育学校	67	1
高等学校	683 定時制180名舎	8 定時制3舎
幼稚園	233	32
特別支援学校	776	6
高等専門学校	97	1
合計	9,494	295

(教員数は令和3年5月、校園数は令和4年4月の数値)

神戸市教員の初任給等

校種	大学院修了(修士)	大学卒	短大卒
小・中学校	271,369	245,460	219,069
高等学校	262,400	242,981	-
幼稚園	250,201	231,348	204,357
特別支援学校	282,982	255,968	228,448

※令和3年度給与ベース。ただし、給与改定される場合があります。
※初任給等は、給料、教職調整額、地域手当、教員特別手当等の合計額(月額)です。
※その他、期末勤勉手当、通勤手当、扶養手当、住宅手当等が支給されます。

神戸市教育委員会事務局総務部教職員課(任用担当)

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目3番3号
神戸ハーバーランドセンタービル ハーバーセンター4階
TEL (078)984-0636 FAX (078)984-0650

採用HP <https://www.city.kobe.lg.jp/a55153/shise/shokuinsaiyou/kyouiku/saiyou.html>

令和4年4月発行 神戸市教育委員会事務局総務部教職員課



採用HP

神戸市教員採用 検索



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

City of Design
KOBE

Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2008

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

令和5年度(令和4年度実施)

神戸市教員採用 選考案内

神戸で先生になる。

出願受付期間(電子申請)

令和4年 **4月20日(水)** ~ **5月20日(金)**



神戸の子供たちのために

神戸は、緑あふれる六甲の山々や陽光にきらめく瀬戸内海という自然に囲まれながら、明治の開港以来、広く世界との交流を深め、新しい気風や多彩な文化を取り入れるとともに、国際都市神戸として独自のブランドを確立してきました。今後も神戸が魅力ある都市として成長・発展することができるよう、次代を担う神戸の子供たちの健全な育成に向け、将来にわたり優れた教育環境を安定的に提供していくことが求められています。

神戸市教育大綱

「神戸市教育大綱」を平成28年1月に策定しました。今後、大綱に基づき神戸の教育に取り組めます。

7つの方向性

- 1 学力の向上に取り組めます
- 2 教員の資質向上を図ります。
- 3 学校の組織力を強化します。
- 4 教員の多忙化対策に取り組めます。
- 5 学習の機会均等を確保します。
- 6 子供たちが健やかに育つ環境を整備します。
- 7 教育に関する科学的な調査研究を進めます。

神戸市の教育

教育理念

人は人によって 人になる

目指す人間像

心豊かに たくましく生きる人間

第3期 神戸市教育振興基本計画「明日につながる 新・こうべ教育プラン」は、神戸の教育における令和2年度から令和5年度にわたる中期的なロードマップです。この計画に基づき、多方面にわたる神戸市の教育施策を推進しています。

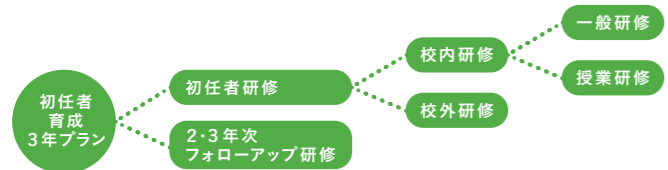
充実した /

若手教員研修・サポート体制

神戸市では、「初任者育成3年プラン」として、法定研修である「初任者研修」(1年目)に加え、**市独自の取組み**として、2年目、3年目にもきめ細かく研修を行うことで、切れ目なく、若手教員の成長をサポートします。

教育委員会事務局の実施する研修だけでなく、現場の教員による手厚いサポートや日々の指導によって、日常の不安を解消しながら**確かな指導力**を育むことができる研修体系が整っていることが神戸市の強みです。

また、若手教員だけでなく、中堅・ベテラン教員も交えて実施する神戸市の研修は、**学校園の枠や世代を超えた教員同士のつながり**を深めながら、それぞれの資質と能力を高め合うことができます。



初任者(新任教員)研修

初任者研修では、校内研修と校外研修に大別し、初任者の教員としての素養を養います。

校内研修

授業研修



専任の指導教員が行う授業を見学

指導教員の立ち合いのもと授業を実施

指導教員とともに授業の検証・改善策の検討

一般研修

各項目を校務分掌とする担当教員が実施。



神戸市の 求める人物像



豊かな人間性にあふれ、 子供に寄り添うことができる人

子供に対する深い愛情と思いやりを持ち、いかなる困難にあっても子供の笑顔と成長につながる選択をできる人を、私たちは求めています。

自律心を備え、多様性を尊重し、 協調・協働できる人

常に高い倫理観と規範意識に基づいて行動するとともに、多様な他者との対話やつながりを深め、互いを理解し尊重しながら、協調・協働できる人を、私たちは求めています。



自らの資質・能力向上のため、 学び続けることができる人

時代の変化とともに学校教育に求められる役割や課題が多様化するなか、自己研鑽のために努力し続けることができる人を、私たちは求めています。

校外研修

校外研修は、教育理念や社会人としての幅広い知見を養う研修です。普段は他の学校で勤める仲間と意見を交わしたり、他校の参観へ赴くことなどにより、**校内だけではできない経験を積み、その後の教育活動への還元**を図ります。



2・3年次フォローアップ研修

授業研究では、5~6人のグループを組み、互いの勤務校で**中間の授業を見学**し、その後の**意見交換を通じて授業力の向上**を図ります。授業研究は、初任者研修から3年間同じメンバーでおこなうため、共に切磋琢磨することができ、グループ内の学びや絆が深まっていきます。

さらに令和2年度からは、**学校以外の社会に触れる**ことで、視野を広げるとともに、**社会における学校の役割について見直す**ことを目的とした**民間企業研修**を実施しています。

民間企業研修

- <受け入れ企業>(R3年度実績)
- 三井住友海上火災保険株式会社
- 西日本電信電話株式会社 など

- <研修内容>
- 企業理念、事業概要
- 環境問題への取組み
- 若手社員との意見交流 など



先輩たちからの

Message

神戸市立学校園の各校種で活躍する先輩教員が、
教員を目指したきっかけや日々の心掛け、
そして働くなかで感じていることなどについてお伝えします。



柏木 大芽 雲中小学校 教諭
令和3年度採用 小学校教諭区分

学生時代、教育実習に臨んだ際、「子供たちに楽しみながら学んでほしい」という真剣な思いのもと、教材研究に励んだり、一人ひとりと関わり合う現場の教員の姿を見て、それまでぼんやりとしていた教員を志す気持ちが、自分の中で確かなものへと変わりました。以来、「楽しく学ぶ」ことは、教員としての自身の軸になっています。

得意としている教科でも、自らが教える立場となると難しく、まだまだ試行錯誤しながらの授業ですが、「今日の授業楽しかった!もっと問題解きたい!」と子供からの素直な反応が得られたときには、大きなやりがいを感じます。

先輩教員の、常に勉強し続ける姿には、いつも刺激を受けています。私も新しいことを追い求め、進化し続けることのできる教員になるべく、努力していきます。



荻野 康平 灘さくら支援学校 教諭
令和3年度採用 特別支援学校教諭区分

教員による言葉かけや指導の仕方ひとつで、子供たちの「出来る」はみるみる増えていきます。子供の「出来る」をひとつでも増やすことができるよう、常に子供の目線に立つことを意識して、教育に臨んでいます。そのような自身の心がけがうまく伝わり、子供が一步、また一步と成長する瞬間に立ち会えることに強くやりがいを感じています。

自身の目標である、保護者の方から信頼を寄せてもらえる教員になるためには、特別支援教育に関する専門性を高めることが必要だと日々痛感しており、合格後も常に勉強を続けています。教科書で学ぶことは、当然ながら全ての子供に当てはまることではないため、教員として過ごす毎日が最も貴重な勉強の機会です。

今後も先輩教員の動きを注意深く観察するとともに、自身の授業に対して積極的にアドバイスを求め、常に自己研鑽に励みます。



山村 真衣子 たるみ幼稚園 教諭
令和3年度採用 幼稚園教諭区分

「今日も楽しかった!」と、親御さんと並んで帰る子供たちを見たとき、子供たちの心を今日も満たすことができたのかなと、幼稚園教諭として心から嬉しく思います。

学生時代には、神戸市の幼稚園教諭になるという夢の実現に向けて、市内の幼稚園で保育補助やボランティアに挑戦し、社会人になってからは、任期付教員として実際に神戸市の幼稚園で経験を積みました。これらの現場だからこそできる実際の体験を通じて、身をもって学んだことが、夢の実現へとつながったと考えています。現在は、自身の成功体験から、子供たちにも同じように実際の体験を通じて楽しく学んでもらいたいと、日々の保育に工夫を凝らすよう意識しています。

今はまだ試行錯誤の毎日ですが、将来的には、子供たちがお互いを認め合い、一人ひとりが輝けるクラスをつくることのできる先生になりたいです。



金谷 勇治 御影中学校 教諭
令和3年度採用 中学校・高等学校教諭区分

学生時代、かやぶき屋根の修繕作業や、運河の循環プロジェクトに参加するなかで知った「体験しながら学べる」ことの魅力が子供たちにも伝えたいと感じ、技術科教員を志すようになりました。一生懸命になにかを作り、そのなかで様々な気づきを得る子供たちの姿を見ると、教員としてやりがいを感じますし、子供たちの柔軟で独創的な発想にはいつも驚かされるばかりです。

次なる夢は、神戸の様々な場所に鳥の巣箱を設置する、という独自の授業を展開することです。海にも山にも恵まれた神戸は、地域ごとに地形や気候が異なります。環境によって巣箱がどのような違いを見せるのか子供たちに学んでもらい、同時に、地元・神戸へのさらなる愛着の形成へとつなげられたら嬉しいです。

教員である私自身も、生徒から多くを学ぶ姿勢を忘れずに、これからも成長し続けます。



越智 春菜 葺合高等学校 教諭
令和3年度採用 中学校・高等学校教諭区分

保健体育科は、得手不得手が特に大きく分かれる教科です。苦手意識ではなく、「楽しい」を感じてもらうことを第一に考え、全員に同じ課題を与えるのではなく、一人ひとりに対して適切な目標を与えることを心がけています。できるようになった達成感から輝く生徒の姿を目にした時には、大きなやりがいを感じます。

また、生徒の成長や変化にいち早く気付くことのできるよう、休み時間にクラスへ様子を見にいったりと、授業外の関わり合いも大切にしています。職員間のごまかなやり取りも、生徒を支えるためには不可欠だと痛感しています。

今こうして教員としての私が在るのは、神戸市の教育のもと、あたたかい先生方に、ひとと関わることの楽しさを教わったからです。今度は私が子供たちに成長の経験を与えたいです。



原田 真帆 東灘のぞみ幼稚園 養護教諭
令和3年度採用 養護教諭区分

大好きな学校という場で、子供たちの心と体のサポートがしたいという思いから、養護教諭を志すようになりました。

初めて挑戦した神戸市の採用試験では、任期付教員としての合格止まりでしたが、「夢への第一歩になるなら」と地元を離れる決意をしました。豊かな自然と多彩な文化に恵まれた神戸は、旅行で訪れて以来の憧れのまちでしたが、実際に学校現場で勤め、先生方からあたたかい指導を受けるなかで、「神戸の何よりの魅力は“ひと”だ」と感じるようになりました。より強くなった神戸への思いと、任期付教員として勤めた経験が、正規教員としての合格につながったのではないかと考えています。

今後の目標は、「開かれた保健室」をつくることです。ちょっとした気持ちを整理するため、みんなが何気なく立ち寄れる温かい場所をつくり、子供たちの成長を支えたいです。



後藤 夏葉 蓮池小学校 栄養教諭
令和3年度採用 栄養教諭区分

学生時代、スポーツ栄養について学ぶなかで、幼い頃に食生活を整えることの大切さを実感し、以来、栄養教諭を志すようになりました。

今年度、初めて臨んだ研究授業では、5年生を対象におやつを選び方を学びました。授業が終わったあと、関心を持った子供たちが沢山の質問をくれたときには、子供たちの食生活の基盤をつくる担い手として、大きなやりがいを感じました。1回の授業で子供たちに伝えられることはわずかですが、今後、栄養に関する授業をカリキュラム化することで、計画的な栄養指導を実現したいと考えています。

また、神戸市の給食を、今より地元の魅力が存分につまったものへと変えることも大きな夢のひとつです。栄養教諭として、今後も子供たちの健やかな成長に貢献したいです。